

NGU NEWS ISSN 0915-8901

COSMORAMA



満開の桜並木(正門)



69

2004 March

お元気ですか?

こんにちは。
(だいたい9時から14時に言う)

こんにちは。
(だいたい15時から18時に言う)

ありがとう。

はじめまして。

さようなら。
(また明日という表現)

Kumaha damang?
Wilujeng siang.
Wilujeng sonten.
Hatur nuhun.
Nepangken.
Dugi ka enjing deui.

Interview

井口さんが受講した東京外国語大学のプログラムはどのようなものですか?

今回の言語研修は、基礎的な文法と敬語を中心にした日常会話能力の習得を目標としていました。午前の授業では、文法理解とそれを補助する練習問題を中心に授業を進め、午後の授業では、日常会話を中心に授業を進めていきました。後半では、簡単な

スンダ語という聞きなれない言語をどうして学ぼうとされたのでしょうか?
もともと私は外国の言語や文化にとっても興味がありました。東京外国語大学のアジア・アフリカ言語文化研修のことは以前から知っていました。夏休みになると東京や大阪で研修が行われていました。今回は名古屋の南山大学でも研修があることを知って二度参加してみようと思いました。私も最初はスンダ語がどこの地域で話されているのかわかりませんでした。しかし、ゼミの清水先生の勧めもあって、自分が知らないことを一から学んでみようと思ったからです。

スンダ語を学ぶ

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所での言語研修に参加された井口さんにお聞きしました



PROFILE

井口己智子さん
外国語学部英米語学科4年

CONTENTS

Interview

1 スンダ語を学ぶ

Topics

- 2 創立40周年を迎えるにあたって
理事長 伊藤信義
学 長 持田辰郎
- 3 横井弘美教授が最終講義
- 4 第2回 経済学部 卒業論文発表会
- 5 LACの発足と活動

Essay

- 6 シリーズ②0 エッセイ
我が家の歳暮・年始風景 早川厚一

Campus Now

- 7 私の講義日誌 新城岩夫
- 8 聖書と教室⑤ 同朋館
エアーズロックの登頂に挑戦
- 9 サークル短信 文化会「吹奏楽部」
チャペルのかたすみで⑧
麦粒などの刊行物について
- 10 シティーカレッジ2004
台湾「中国文化大学」と交換留学協定を締結
- 11 2003年度 学生部長表彰
2003本学の動き

Information

- 12 卒業および修了式
学長表彰で12名が表彰
スタインパーク教授、馬淵教授も最終講義
2004年度 資格取得講座案内
2004年度 父母懇談会および父母会
総会の開催について
スピーチコンテストを開催
会社説明会を開催
2004年 3月～5月 行事予定

COSMORAMA(コズモラマ)の由来

「宇宙」や「世界」を表わすCOSMOS(コスモス)とPANORAMA(パノラマ)との合成語。19世紀にロンドンの街角でしばしば行なわれた世界各地の様子をのぞきみせるショーの名称として使われたのが最初。世界の動きに興味を持ち、大きな視点に立ってそれを見渡すことができるようにとNGU NEWSの愛称に採用しました。

読み物を読みながら読解力をつけるとともに文法理解を深めていきました。会話の練習では日本語にも通じておられるネイティブの先生によって授業がなされました。

語学以外にも、スンダの芸能、食文化、歴史、村の生活と農業などについて、それぞれの専門家の講演が行われました。

この言語研修の受講について、本学外国語学部ではどのようなプログラムになっていますか？

本学外国語学部と東京外国語大学アジア・アフリカ言語研究所とは、単位互換の協定を締結して、夏期休暇中に東京地区と関西地区で実施される言語研修を修了すると学部学科科目の「外国事情（8単位を上限）」に振り替えることができます。

2003年度は、東京で「マダガスカル語」、大阪で「ベトナム語」、名古屋で「スンダ語」が開講されました。

率直にいつ「スンダ語」について何も知らないですが、「スンダ語」とはどういう言語なのでしょう？使用されている地域、使用人口などを紹介してください。

スンダ語はインドネシア共和国のジャワ島の西部を中心に居住するスンダ人（約3,000万人）の言語です。マレー語やインドネシア語と同じ系統に属する言語で共通点も多くありますが、隣接するジャワ語の影響を受けて発達した敬語法が存在する点が大きな相違点です。固有の文字がありましたが、現在はローマ字で表記するのが一般的です。古典歌謡やポップスをはじめとする様々な

芸能の分野でインドネシアの人々に親しまれている言語です。

今回は名古屋で受講されそうですが、どこで、という人が受講されたのでしょうか？

会場は、南山大学でした。受講した生徒は、私を含めて5人。3人は南山大学のインド



ネシア学科の学生で、1人は高校の英語の先生でした。

英語でもそうですが、「ことば」を学ぶたのしさを教えてください。

私にとっては、新しい言語を学ぶことに魅力を感じるのかもしれませんが、今回のスンダ語についても、私はどういう言語かわかりま

せんでした。ゼロからスタートしたわけですが、150時間の間で集中して学べたおかげで、思っていたより習得が早かったと思います。休憩時間などにネイティブの先生とスンダ語で話していると、私はまた世界の知らないなかつたことを一つ学んだという気持ちになります。

スンダ語を学んで、外国語学部生として得るところはありましたか？

普段の生活では、スンダのことは知りもしなかつたでしょう。世界には数えられないほどの言語や民族が存在していると思います。今回、私はその中の二つに出会えたわけですから、先生方がスンダ地方に行かれたことがあつたので、町の写真やビデオを見たり、村の生活を詳しく知ることができました。文化的なところの相違に驚かされました。トイレの後は、紙で拭くのではなく、手と水で洗い落とすとか：イスラム教の国ですから、お祈りのこととか。スンダ語を学んで、日本がどれだけ物質的に豊かであるか、スンダがどれだけ暖かく美しい地域であるか、それぞれの国の比較を通して、長所や短所を学べたと思います。

今年卒業ですが、さしつかえなければ進路について教えてください。

映画のディストリビューターになるため専門学校に進学です。配給や宣伝のことです。

どうもありがとうございました。



名古屋学院大学

創立40周年を迎えるにあたって

伊藤信義 理事長

創立40周年に新しい気持で大学を再スタートさせることの意義は深い。今日迄の大学の歩みは順調な道のりばかりではなく、とくに瀬戸キャンパス移転時の財政的危機は、一時大学の発展に影響を与えたが、幸い多くの人びとに支えられ、その後は順調に今日にいたっており、社会から高い評価を受けるようになったことは何人も知るところである。

今、社会構造の変化によって大学は大きくゆさぶられていて、18才人口の激減の一波に続き、二波、三波により受験生の減少が大きな苦しみの種となっている。この波の被害を最小限に食い止める努力をし、学生の獲得に英知を向けなければならない時に遭遇している。40周年を新生大学のスタートとしてこの問題を正面から受け止め、より良い方法を考えなければならぬ。

記念事業として、名古屋キャンパス設置を今年度中に具体化し、実現させることに努力を注ぎ、同時に新学科、新学部の新編成の検討に入り、大学の発展充実に努力しなければならない。全教職員の協力と支援、更に英知を結集して、三万人以上の卒業生からも、社会からも高い評価が得られる大学の実現を夢見ている。

名古屋学院大学は創立40周年を迎えました。日本の大学教育が大きく変わろうとしているいま、記念すべき年を迎えたこと、喜びとともに身の引き締まる思いがいたします。

本学も改革のまっただ中にあります。キャンパス整備、学部や学科の見直し、カリキュラムの改訂、そしてなにより日々の授業内容や学園生活を今の学生にあわせたものにする。制度や教育内容は時代にあわせて大幅に変えていかなければなりません。

ただし、ただ「変わればいい」わけではありません。そこに40年という歴史のもつ意味があります。大学、とくに私立大学の意義は志にあります。どのような教育をしようとしているのか、その志です。40年の歴史は、その志を受け継いできた歴史でもあります。いまの大学改革もその志が問い直されているといえましょう。目先の動向や利害に流された改革、志のない改革は失敗すること必定でしょう。私たちにはキリスト教主義教育という変わらぬ志があります。初代学長の福田敬太郎先生以来、さらには名古屋学院創立者のクライン博士以来受け継いできた志を守りつつ、21世紀の新しい大学像を描いてまいります。

それによって、ひとりひとりの顔の見える教育、本学の掲げる「学ぶ喜び」を実感できる教育を実現してまいります。

学 長 持田辰郎



横井弘美教授が最終講義

生が頭角をあらわし、その期待に應えて収束を図られました。この実績は以後の横井先生の大学行政職とのかかわりを

ほか、キャンパスが立地する瀬戸市など地域への貢献も多大で、行政機関などの各種委員会委員長も数多く歴任されました。



大学は今年40周年を迎えますが、この間、横井先生は学長職として通算11年8ヶ月、学校法人理事長として8年8ヶ月を大学経営者として尽くされ、まさに本学の興隆期の

礎を築いてこれたもので、今日の名古屋学院大学の発展を見たものです。

退職後は郷里の香川県に帰られ、新たな人生を開始されるということです。



ANNIVERSARY
40th
1964 2004

40周年記念
シンボルマーク



希望館 1988



大学チャペル 1983



瀬戸キャンパス移転時 1968



大幸町キャンパス 1964

3 | COSMORAMA

Topics

第2回 経済学部 卒業論文発表会



経済学部では、ゼミを通じて頑張っている大学生の発表の場として、またゼミの研究内容を広く知らせる機会として「卒業論文発表会」を昨年企画し、大きな成果をあげました。今年度も「卒業論文発表会」を開催しました。

昨年の12月第1週の3年生ゼミ時間（4時限目）を利用し、経済学部3年生全員が先輩達の発表を聴くという形式で行いました。合同教室の2会場において4日間で全26組の発表がありました。いずれの発表者も入念な準備をしており「研究・学問をする大学生」の姿が印象的でした。また昨年同様、発表の指導に当たった先生方も夜遅くまで、また直前まで特訓されたということです。

昨年に比べてパソコンを利用した発表が

2003年度経済学部卒業論文発表者・演題一覧

発表者	演題
長 江 弘 晃 (小野ゼミ)	地域活性化における「まちづくり」の役割
森 口 考 路 (小野ゼミ)	住宅問題の一考察
吉 橋 和 宏 (山田ゼミ)	インターネット上における音楽著作権の侵害と保護
加 藤 孝 太 (山田ゼミ)	在日韓国・朝鮮人を取り巻く環境
高 田 勇 太 (家本ゼミ)	欧州サッカーの歴史文化の研究
鈴 木 昇 (家本ゼミ)	オスマントルコ帝国の研究
吉 原 望 (児島ゼミ)	ITSの現状と愛知県の取組 ～愛・地球博での応用～
北 條 雅 也 (児島ゼミ)	Yahoo!の成功要因の研究
田 辺 雅 光 (児島ゼミ)	新しい無線通信のあり方の提案 ～BluetoothとPDAの融合～
谷 口 一 志 (早川ゼミ)	大学祭研究
小 林 克 至	
川 村 晃 一 (十名ゼミ)	演劇論
大 石 誠 之 (児島ゼミ)	Webブラウザがもたらした影響とは?
矢 嶋 加 奈 子 (水野ゼミ)	"ゲンタン"と一緒に考えよう
丸 山 喬 士 (水野ゼミ)	汗と涙の"登り窯" 奮闘記
青 野 健 志 (笠井ゼミ)	トヨタから見たポーランドの市場経済化 ～進出の法的背景をさぐる～

発表者	演題
松 岡 歩 (岡澤ゼミ)	玩具の歴史と将来 ～玩具と人間～
小 川 普 大 (三枝ゼミ)	死刑制度の是非について
広 瀬 健 一 (吉田ゼミ)	平成不況に対する政策はどうあるべきか
溝 下 雄 城 (三枝ゼミ)	少年犯罪の現状と課題
林 大 輔 (名城ゼミ)	フランス資本主義の発展とEU統合
石 賀 俊 亮 (笠井ゼミ)	中国の市場経済関係法の整備と外資導入 ～世界の工場から経済大国への挑戦～
吉 間 通 悦 (山本ゼミ)	プロ野球選手(セントラルリーグ)の誕生日における 打撃成績に関する検討
難 喉 雄 亮 (児島ゼミ)	日韓のIT政策比較研究
平 野 真	
安 田 茂 雄 (李ゼミ)	ペットボトル・リサイクルの現状と課題
大 栗 貴 志	
森 田 博 (児島ゼミ)	ユビキタス・ネットワーク社会における 公衆無線LANサービスの役割
中 島 康 善 (児島ゼミ)	メディアミックスによる消費行動の 変化ーネット広告からWebサイトへ

厳正な審査の結果、下記のとおりのみなさんが入賞し、12月17日午後1時からチャペルで結果報告と表彰式が行われました。

経済学部長賞

優 秀 賞

佳 作

溝下 雄城 (政策学科4年 三枝ゼミ)
中島 康善 (政策学科4年 児島ゼミ)
松岡 渉 (経済学科4年 岡澤ゼミ)
矢嶋加奈子 (政策学科4年 水野ゼミ)
安田 茂雄 (経済学科4年 李ゼミ)
大石 誠之 (経済学科4年 児島ゼミ)
吉橋 和宏 (政策学科4年 山田ゼミ)

多くなり、企業では当たり前前に利用されるデジタルプレゼンテーションの実践の場にもなりました。就職活動を目前にした3年生にとつては大きな刺激であったと思われます。また、他の学部生や1、2年生の聴衆も増え、徐々に学内へ認知されつつあります。

表彰式はチャペルで行われ、講評とともに各賞が発表されました。今回はすべての発表をビデオ録画し、情報教育センターでDVDに編集して発表者の記念品としました。さらに、表彰された発表は、学内LANでネット配信され、来年度以降のプレゼンテーションの「生きた教材」となります。

このように学生が積極的に参加する機会を通じ、今後ますます大学全体がアカデミックな雰囲気になれるようになることを期待します。

LAC(Library Action Committee)の略で「図書館行動委員会」が日本語名称になります。この会は2001年6月13日に行われた2001年度図書館運営委員会で提起され発足したものです。LACの責任者には小野経男館長(当時)が就任し、同年度は3回のハウツーワークショップ(How to Workshop)を実施しました。第1回は小野経男教授により「チロルの歩き方」との演題で実施しました。会場は図書館3階グループ研究室を使用し、教職員・学生の参加を得ました。



2003年度 第1回LAC

LAC(図書館行動委員会)

それは利用者の意識改革です。図書館は博物館や美術館と違って、物理的な建物が建つていて、お客が鑑賞者になって入場するものではありません。図書館に入る者は図書館が管理するものを十二分に活用し、その利用者になるのです。図書館を自分のものにするのです。」

〔Triangle教職員版No.53〕2001.

Library
Action
Committee



の発足と活動

11.26)と述べられています。

LACハウツーワークショップの特徴はスライド、パワーポイント等の機器を使って、肩の張らない、気さくな話し合いの形式をもつて会を進めているところにあります。参加している教職員・学生・一般社会人等と講師との質疑応答があり、フランクな話し合いの場となっています。

LACのこれまでの活動

- ◆2001年度

第1回 10月31日	チロルの歩き方	小野経男
第2回 11月14日	台湾高地先住民をみる眼	中村 勝
第3回 12月12日	ヨーロッパ・中欧の「東」への誘い	家本博一
- ◆2002年度

第1回 10月16日	世界の自然環境	石川輝海
第2回 11月13日	現代のアフリカ社会	今村 薫
第3回 12月 4日	ラテンアメリカ世界の光と影	木村光伸
- ◆2003年度

第1回 10月 8日	インターアートな世界を楽しむ	林依里子
第2回 11月26日	生活と環境	李 秀澈
第3回 12月17日	地球温暖化を考える	木船久雄



毎年どのように大晦日を過ごしていますか。私自身、格別変わった大晦日を過ごしているわけではありませんが、ただ、私がかここ数年心密かに実行していることがあります。

紅白歌合戦を見ますか。正直言って、私自身余り好きではありません。ミューハーな私は、あの衣装、対決の場面だけは見るようにしていますが、その他は、家族が好きなのですから、致し方なく見ているというのが実情です。とにかくどんな見方をしていようと、画像や音は私の目や耳に入ってきます。しかし、そんな私も、時には、見入り聞き入ってしまうこともありまます。去々年の紅白で言えば、中島みゆきの歌などがそうでした。

さらに往々にして、自分自身を画面に投影して、聞いている自分に気づくことがあります。若い皆さんなどは、そんな経験がもつと多くあると思います。もちろん、私は歌手ではありません。ですから、そうした舞台上に立つて歌うことなどはありえないのですが、自分にも、今まで以上に社会に自己アピールする場があるはずであるし、そうしたチャンスや可能性はまだまだあるぞという気持ちになってくるのです。そう思うと、胸に熱くこみ上げてくるものがあります。

私にとつて、まだまだチャンスや可能性があるとしたら、それは何か。言うまでもなく、三十数年来続けている平家物語研

究に他なりません。五十を過ぎたおじさんに、このようにまだ夢を見させる平家物語とは一体何なのか、多少は興味を抱きませんか。

そうこうする内に、大晦日の夜は更けていきます。子供達を風呂に入れ、家族も寝静まった頃、私は、おもむろに机の前に座り、勉強することになっています。義務的に座り、勉強するのではもちろんありません。あの紅白を見ると、心ばかりか、頭も熱くなり、しばらく寝付けなからです。そうした心と頭の火照りを大晦日に感じ得たとしたならば、まだまだ俺も若いぞと言う気持ちにもなります。心の張りだけは失いたくありませんものね。さて、年明けです。今年も良い天気恵まれました。我が家には、猫の額の庭ですが、半世紀以上経過しても、毎年握り拳大の実を三百から五百個ほどつける柿の木があります。多くは収穫しますが、毎年三十個ほど残しておくと、年が明けても、その柿の実をついばみに、すずめやもず、時にはめじろや鶯も来ます。ところが今年には、ガラス戸越しに外を見ると、たった一つの柿の実が、寂しげに正月の風にうちふるえています。

家族同士、新年の挨拶を交わし、お茶を飲みながら、思わず、私が、一句。「柿二つ」。お恥ずかしいような発句ですが、これに、我が妻と、我が母が、続けることとなりました。小学生の二人の子供達も、興味深そ

うに二人の顔をのぞき込んでいます。先に続けたのが、妻の「正月の朝」。これもまたほめようもない駄句ですね。結局、置いてきぼりを食った母が、口をもごもごさせながら、不満げに我々の顔を見ます。そして、おもむろに、「福茶飲む」。これで、ようやく句も締まりました。今年八十三歳になる我が母を見直した正月の光景でした。

Essay

我が家の歳暮・年始風景

はやかわ こういち
早川 厚一
(経済学部教授)



Campus Now

名前の由来

聖書と教室

シリーズ⑤

同朋館

(どうほうかん)

前号紹介した「地塩館」にならぶ双子の教室群の一つで「D教室」といわれ、600人収容の階段教室であった。外国語学部増設による教室不足解消のため、階段教室の上部に床(天井)を張り、2分割した教室として改造された。現在は下部がD1教室(200人)1室と、上部にD2(120人)、D3(120人)、D4(100人)、D5(100人)の4室で同朋館を形成している。比較的中規模教室のため、外国語学部科目や教職科目など少人数での授業に利用されている。

■ 総延べ面積739.60㎡ 1967年竣工、1988年改修

同朋館(どうほうかん)D

「見よ、兄弟が和合して共におるのは
いかに麗しく楽しいことであろう。」(詩
篇第133篇1節)

この建物は、元々「地塩館」と同じ構
造の建物だったのを1989年の外国
語学部増設に合わせて改造して、現在
の形になっています。

教会ではキリストへの信仰を告白し
た信者同士を「(主にある)兄弟・姉妹」
と呼び合っているの、兄弟Ⅱ同朋と言
うことになるのです。このキャンパスでの
生活の中で、生続く友情が培われて行
くことを期待します。



Douhoukan

オーストラリアに挑戦



今回の留学を一言で表すと「悪戦苦闘」
かなと思います。最初の頃、英語が全
くわからず、話すことも聞くこともま
ともにすることができませんでした。
勉強面においては、前期は語学学校
に20週間通い、後期は大学でネイティブ
の学生同様、授業を受け、アサイメント
(宿題)を出し、テストを受けてという
ハードな勉強でした。日常生活では、わた
しは自炊生活だったので、毎日、料理し
たり、みんなで一緒にごはんを食べたり、
勉強したり、話したり。あとは、クラブに
入ってバドミントンを毎週2日ほどやって
いました。それでも、仲間の輪が広がり、い
ろんな人と知り合うことが出来ました。

そして、一番の大旅行が「エアーズロック」
にチャレンジしたことです。オースト
ラリアにいるからには、ぜひ行きたいと
思っていて、10月の休みを利用して行っ
てきました。わたしのフラットメイトと
他の日本人の友達も含めて7人。一週
間という短い間でしたが、いい思い出が
出来ました。でも、この旅で感じたことは、
「オーストラリアは広い!!!」すごく感動
して、つねに「すごい」という言葉しかで
てきませんでした。とにかく、旅の半分
以上が移動で、はつきり言って、エアーズ
ロックに滞在できたのも数時間。でも、
その短い間であの岩に登ってきました。
時間が足りず、頂上まで登ることがで
きませんでした。3分の2ぐらいまで
は登ってききました。あの岩は、かなり急で、
わたしたちが登ったときは風がすごく
強く、本当に怖かったです。で、案の定、
下りてきたときに、「強風のため登れま
せん」という看板がありました。遅す
ぎる!!! って、感じてはいたけど、反面、登
ることができてよかったと思いました。
せっかく来たのに登れなかったのでは、
意味がなかった。また、気候も暑く
もなく寒くもなく一番いい時期ではな
かったかなと思います。

本当、この留学中の日々月間いい思い出
がたくさんできました。言葉ではす
べてをいづくせないし、紙に書くこと
は本当に不可能に近い。なので、留
学を考えている人にはぜひ行つて体験
してきてほしいと心から思います。

(外国語学部 英米語学科4年 高石洋子)
(留学先 オーストラリア ニューイングランド大学)

吹奏楽部



本年度、吹奏楽部の主幹として「少しでも、何か後輩達に残せるような活動がしたい。」という想いで、一年間活動してきました。アンサンブルコンテストや、毎年瀬戸市で行われているスプリングフェスタへの参加など、昨年できなかったことにもチャレンジし、多くの経験を得ることができました。また、同じ音楽サークルであるJAZZ研究会との交流を深めるため、学内のチャペル前にて、合同の演奏会なども企画しました。多くの新しい取り組みの中で、今まで続けてきた学園祭でのチャペルコンサートも、多くのお客様がご来場くださり、アンケートでは、様々な方から温かい励ましの言葉をいただきました。

この一年は、私達吹奏楽部にとっても大変意味のある、充実したものになりました。しかし、大切なのはこれからです。今までの様々な新しい試みも、一度限りで終わってしまつては、何の意味もありません。続けていつて初めて部の財産になるのです。私は昨年の11月の大学祭をもつて、主幹としての仕事を終えましたが、この二年の活動が、吹奏楽部の新しい第一歩となるように、新しい主幹のサポートも含め、「次の代につなげる」という一番大切な役目を、これからしっかりと果たしたいと思っています。

(外国語学部 英米語学科 3年 杉浦愛)

— 麦粒などの刊行物について —

キリスト教センター
ふくい きたる
福井 智



チャペルのかたすみで⑨

チャペルの扉を開けると右手の方に受付用のテーブルが目に入ります。そこに、「チャペルニュース」「Invitation to Chapel」「麦粒」「チャペルブックレット」などと書かれたチャペル情報紙や小冊子が置かれていることに気づかれるでしょう。

情報紙のうち『チャペルニュース』は火曜日と金曜日に行われるチャペルアワーの奨励者や聖句、讃美歌などが案内されていてチャペルアワーで利用します。『Invitation to Chapel』は半月分の奨励者の紹介や、講演会、各種行事などの予定や報告が載せられ、学生や近隣の教会、また全教職員にも配布されています。

小冊子は「種類あります。このうち『麦粒』は年二回発行され、チャペルアワーでの奨励内容を書いた冊子となっており、入学式、卒業式などでも配布されます。また『チャペルブックレット』

は宗教講演会の講演内容を書いた小冊子で、学生、教職員はもとより学外の方々へも機会があることにお渡ししています。ほかにも、『チャペル案内』、『チャペル相談室案内』などのリーフレットもあり、みなさまが手にとってご覧くださるよう、チャペルのかたすみでお祈りしています。

中国語で万博(初級)

- 講師 程群
- 場所 名古屋学院大学さかえサテライト
- 日時 4月20日(火)から毎週火曜日
全10回 10:30~12:00
- 受講料 5,000円

中国語で万博(中級)

- 講師 程群
- 場所 名古屋学院大学さかえサテライト
- 日時 9月7日(火)から毎週火曜日
全10回 10:30~12:00
- 受講料 5,000円

英語で万博(初級)

- 講師 John A. Roskoski Jr.
- 場所 名古屋学院大学さかえサテライト
- 日時 4月21日(水)から毎週水曜日
全10回 10:30~12:00
- 受講料 5,000円

英語で万博(中級)

- 講師 John A. Roskoski Jr.
- 場所 名古屋学院大学さかえサテライト
- 日時 7月7日(水)から毎週水曜日
全10回 10:30~12:00
- 受講料 5,000円

簡単な万博手話でろう者と話そうよ

- 講師 斉藤澄子
- 場所 名古屋学院大学さかえサテライト
- 日時 5月7日(金)から毎週金曜日
全10回 13:00~14:30
- 受講料 無料

ブロードバンド時代における 情報活用のために

～情報社会に求められるもの～

- 講師 梶田建夫、児島完二、星和徳
- 場所 名古屋学院大学さかえサテライト
- 日時 6月7日(月)から毎週月曜日
全3回 14:30~16:30
- 受講料 無料

起業のすすめ

- 講師 夏秋享、小嶋博
- 場所 名古屋学院大学さかえサテライト
- 日時 7月5日(月)から毎週月曜日
全2回 18:30~20:00
- 受講料 無料

発展途上国と日本

～エキサイティングな東アジア経済を案じよう～

- 講師 林光洋
- 場所 名古屋学院大学さかえサテライト
- 日時 9月29日(水)から毎週水曜日
全4回 18:30~20:00
- 受講料 無料

風の音楽 ～トッカータとフーガを弾こう～

- 講師 有田知子
- 場所 名古屋学院大学チャペル
- 日時 9月中旬～12月上旬のご希望日
及び時間
全4回 1日1レッスン(45分間)
※土日祝、本学休日を除く
- 受講料 5,000円

中国浪漫紀行

- 講師 庵原孝文、遠志保
- 場所 名古屋学院大学さかえサテライト
- 日時 11月4日(木)から毎週木曜日
全4回 15:00~16:30
- 受講料 無料

浮世絵に見る江戸の粋

- 講師 山本親
- 場所 名古屋学院大学さかえサテライト
- 日時 11月8日(月)から毎週月曜日
全3回 15:00~16:30
- 受講料 無料

“ゴルフ”の基礎を習得する

- 講師 坪田暢允
- 場所 ゴルフ倶楽部大樹(瀬戸)
- 日時 10月5日(火)から毎週火曜日
全5回 14:00~16:00
- 受講料 5,000円

キリスト教に見る<生・老・病・死>

- 講師 村上みか、福井智、武岡洋治、葛井義憲
- 場所 名古屋学院大学さかえサテライト
- 日時 12月1日(水)から毎週水曜日
全4回 15:00~16:30
- 受講料 無料



申込み・問い合わせ先

名古屋学院大学エクステンションセンター
TEL 0561-42-1096 FAX 0561-42-1097

台湾「中国文化大学」と交換留学協定を締結



中国文化大学



本学は、学生の留学先の充実を図るため、この
ほど36番目の協定校として台湾の中国文化大学
(Chinese Culture University)と「交換留学につ
いての協定」締結を行いました。

中国文化大学(台湾・台北市)は、1962年
に創設され、約2万名の学生が、文学部、ジャーナ
リズム学部、科学部、工学部、経営学部、農学部、
芸術学部、法学部、外国語学部の9学部で学んで
います。中国の伝統文化を継承し、西洋の科学・
社会科学と融合させることを建学の精神として
います。また、国際交流にも力を入れており、外国
人留学生も積極的に受け入れています。このほか、
中国文化大学の特色として、芸術学部では、中国
の伝統的演劇・舞踏を学ぶことができ台湾唯一の
大学博物館には、書画芸術品が展示されています。
同大学にはとくに中国語学校「中国文化大学華
語中心」が併設されており、台湾師範大学と並び、
語学研修の日本人が多いことでも知られています。

2003年度学生部長表彰

2003年度の学生部長表彰式が、昨年12月17日希望館3階第3会議室において行われました。学生部長表彰は、毎年スポーツ・文化・社会活動などを通じて、顕著な成果をあげた団体や個人を選考し表彰しています。今年度は団体9クラブ、個人32名が選ばれ学生部長から賞状と記念品が授与されました。

新しい年度が始まります。体育会・文化会所属の各クラブをはじめ、学生諸君の更なる活躍を期待します。

表彰された団体、個人のいずれもが優れた成績を収めました。中でも水泳部・準硬式野球部・卓球部・馬術部の4クラブは、全国大会出場を果たし、本学の名を高めた功績は大きなものがあります。また、サッカー部が1部に昇部したことも本学にとって特筆すべきことです。



学生部長表彰 課外活動成績優秀者

団体表彰

- | | | | | |
|---------|-------|------|----------|--------|
| ○準硬式野球部 | ○水泳部 | ○卓球部 | ○ラグビー部 | ○日本拳法部 |
| ○サッカー部 | ○スキー部 | ○馬術部 | ○ソフトテニス部 | |

個人表彰

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 空手道部
堀博征 | 硬式野球部
仲秋良樹・狩山兼吾 |
| 少林寺拳法部
大島邦一・机本茜 | 柔道部
松嶋丈師 |
| 準硬式野球部
吉田行宏 | 卓球部
下山大介・鈴木祐太・磯部卓志・白木千尋 |
| 日本拳法部
伊藤貴紀・岸上昌悟・松田多貴・浅谷真希 | バスケットボール部
梶間貴可・鈴木信吾 |
| バレーボール部
角谷隆一・堤大輔 | 馬術部
村井康式・荻山友之・池田二清 |
| ボクシング部
山本敦・浅井佑典 | スキー部
白野健一・西尾昭範・赤川裕輝・檜崎裕也・斉藤祐司・清水なぎさ・安藤美季・吉田深可 |

ラグビー部が全日本大会へ出場

本学ラグビー部は昨年行われた「東海地区代表決定戦」を勝ち進み、全日本大会である「第54回全国地区対抗大学ラグビー大会」に出場しました。

本学は瑞穂グラウンドで行われた1月2日(金)の試合に出場し、東北学院大学と対戦し、残念ながら5対8で初戦敗退となりました。当日は正月の2日目でしたが、多くの学生、OBのみなさんや教職員・関係者が駆けつけ、選手の活躍を応援していました。



2003 本学の動き

この1年

4月

- 春学期開始(4/1) ●入学式・オリエンテーション・ガイダンス・履修登録(4/1) ●春学期授業開始(4/7) ●春の留学フェア(4/22)

5月

- 大学院通信教育課程開講式(5/3) ●第42回NGUチャペルコンサート<演奏者:豊田市コンサートホール専属オルガニスト 椎名雄一郎>(5/17)

6月

- 留学生別科フィールドトリップ(伊勢・志摩)(6/4) ●宗教講演会<講師:オーグス総研コンサルティング部研究員 東村奈緒美>(6/13) ●宗教講演会<講師:医師 細井 順>(6/17) ●父母会役員会・総会(6/28)

7月

- 春学期授業終了(7/8) ●留学生別科修了式(7/11) ●オープンキャンパス(7/20) ●英語教育公開講演会<講師:ペンシルバニア州立大学助教授 M. Daniels>(7/21) ●英語教育セミナー<講師:ペンシルバニア州立大学助教授 M. Daniels>(7/22)

8月

- 親子陶芸教室(8/2) ●オープンキャンパス(8/20) ●AO入試体験入学(8/22~25) ●父母懇談会(岡山、浜松、松本)(8/30)

9月

- 父母懇談会(金沢、津、岐阜)(9/13) ●留学生別科入学式(9/16) ●大学院修士課程第1期入試[経済学専攻・英語学専攻・中国語学専攻](9/20) ●大学院博士前期課程第1期入試・博士後期課程秋学期入試[経営政策専攻](9/21) ●オリエンテーション・ガイダンス・履修登録(9/22) ●父母懇談会(本学)(9/27) ●秋学期授業開始(9/29) ●春学期卒業式・修了式(9/30)

10月

- 第6回高校生英語スピーチコンテスト(10/5) ●LACワークショップ<講師:林 依里子>(10/8) ●創立記念日(10/15) ●AO入試(10/18) ●編入学試験<前期>・特別入試<外国人留学生前期>(10/18) ●秋の留学フェア(10/21) ●大学院通信教育課程第1期入試[英語学専攻](10/26) ●留学生別科フィールドトリップ(白川郷・金沢)(10/29)

11月

- 第39回大学祭・陶芸館まつり・在学生による大学説明会(11/1) ●名古屋学院大学同窓会35周年記念パーティー(11/3) ●宗教講演会<講師:知的障害者授産施設さくらん生活園園長 戸田真二>(11/11) ●推薦入試<一般・スポーツ>(11/15) ●第43回NGUチャペルコンサート<演奏者:ジェームズ・ドーンソン>(11/15) ●推薦入試<一般・指定校>(11/16) ●ドイツ語公開講演会<講師:名古屋工業大学教授 日野安昭>(11/17) ●宗教講演会<講師:日本基督教団周防教会牧師、身体障害者自活アパート『亀の里』代表者 村田 敏>(11/25) ●LACワークショップ<講師:李 秀澈>(11/26)

12月

- 手話公開講演会<講師:草の根ろうあ者懇談会事務局長 稲葉通太>(12/4) ●クリスマスチャペル(12/16) ●留学生別科修了式(12/19) ●クリスマスチャペル(12/19) ●子供クリスマス礼拝(12/25) ●市民クリスマス礼拝・キリスト降誕祭(12/25)

1月

- 秋学期授業終了(1/14)

2月

- 一般入試<前期>(2/1) ●大学院修士課程第II期入試[経済学専攻・英語学専攻・中国語学専攻](2/7) ●大学院博士前期課程第II期入試[経営政策専攻](2/14) ●大学院通信教育課程第II期入試[英語学専攻](2/15) ●大学院博士後期課程入試[経営政策専攻](2/15) ●一般入試<後期A日程>(2/27)

3月

- 一般入試<後期B日程>(3/12) ●学位記授与式・修了式(3/15)

学部・大学院1,163名が卒業および修了

2003年度学位記(卒業式)授与式が3月15日(月)午前10時30分から栄光館で挙行されました。卒業式の風物詩となった女子学生のはかま姿に大学は一段と華やき、後輩や、ともに出席したご父母から祝福を受けていました。今年度卒業生および修了者は次のとおりでした。

●学部・学科	
経済学部経済学科	387名
経済学部政策学科	126名
商学部商学科	328名
外国語学部英米語学科	186名
外国語学部中国語学科	54名
●大学院	
経済経営研究科経済学専攻	6名
経営政策専攻(博士前期課程)	51名
経営政策専攻(博士後期課程)	1名
外国語学研究科英語学専攻	6名
中国語学専攻	3名
通信制英語学専攻	10名
●留学生別科	6名

学長表彰で12名が表彰

4年間の学業成績が極めて優秀で、他の学生のみならずの模範となる学生を表彰する学長表彰式が3月8日(月)午前11時30分からチャペルで挙行されました。学長を始めとして各学部長も出席して祝辞を受けるとともに表彰状と記念品が授与されました。

●経済学部経済学科

末次英恵、服部友香、柳川梨沙

●経済学部政策学科

太田喬士、西出善紀

●商学部商学科

浅井美帆、大内理恵、何瑞欽

●外国語学部英米語学科

奥村友佳子、鈴木陽子、水野佐知

●外国語学部中国語学科

酒井貴代



スタインバーク教授、馬淵教授も最終講義

3月末で定年退職となる外国語学部のスタインバーク・美穂教授(1月9日(金))と経済学部の馬淵紀壽教授(1月13日(火))の最終講義が行われました。

スタインバーク教授は1985年に経済学部へ就任されて以来19年間、学部教育のほか本学の国際交流の充実に力を尽くしていただきました。



スタインバーク美穂教授
1月9日(金)4限 A3教室

馬淵教授は経済学部へ1999年の就任で、5年間でしたが、学部教育にご尽力いただきました。



馬淵紀壽教授
1月13日(火)2限 F2教室

当日は各学部長からそれぞれ略歴紹介があり、多数の学生、教職員が出席のもと最終講義が開講されました。講義終了後、あらためて学部長から謝辞が述べられ、ともに花束が贈呈され、出席者と記念写真の撮影が行われました。

なお、最終講義は開講されませんでしたが、経済学部の安藤実教授も定年退職を迎えられました。長年にわたり本学の発展にご尽力いただいた先生方へ、ここからお礼を申し上げます。

2004年度資格取得講座案内

2004年度開講されます資格取得講座は別表のとおりですが、全体および講座別のガイダンスが次のとおり行われます。受講にあたっては日程をよく確認して出席してください。

ガイダンス
日時 4月6日(火)
午後1時30分
場所 C教室

2004年度 開講講座一覧(予定)		
TOEIC®	通関士	販売士3級・2級
色彩能力検定3級・2級	福祉住環境コーディネーター2・3級対応	日商簿記3級・2級
ビジネス能力検定3級・2級	衛生管理者(第一種)	マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOUS試験から名称変更) Word, Excel, PowerPoint
秘書検定2級	宅地建物取引主任者	
フライトアテンダント・グランドホステス	法学検定3・4級対応	ホームヘルパー2級
初級システムアドミニストレータ	行政書士	
一般旅行業務取扱主任者	ビジネス実務法務3級・2級	

2004年度父母懇談会 および父母会総会の 開催について

本学では、ご父母のみなさまと教職員とが直接お目にかかって、学生のみなさんについての相談ごとについてのお話をお聞きしたり、大学の教育について報告させていただく、父母懇談会を次のスケジュールで開催しております。詳細については別途ご案内いたしますが、多くのご父母のご出席をお待ちいたしております。

開催日	開催地
8月28日(土)	浜松
	岡山
	松本
9月11日(土)	金沢
	津
	岐阜
9月25日(土)	大学会場

また、父母会総会は6月26日(土)本学で開催予定ですが、別途案内をさせていただきます。

2004年 4月～5月 行事予定

3月

- 27日(土) 大学院開講式
31日(水) 健康診断(4年生以上)

4月

- 1日(木) 入学式
2日(金) オリエンテーション・ガイダンス・履修登録(2年生以上)
→4月7日(水)まで
クラス別キャンパスツアー・
新入生歓迎パーティー・パソコン配布
→4月7日(水)まで
健康診断(新入生)
→4月5日(月)まで
6日(火) 履修登録(新入生)
→4月8日(木)まで
公務員・資格講座ガイダンス
7日(水) 奨学金説明会
8日(木) 春学期授業開始
14日(水) TOEFL-ITP
19日(月) 新入生合宿ガイダンス(商学部商学科)
→4月20日(火)まで
20日(火) 新入生合宿ガイダンス
(商学部情報BC学科)
→4月21日(水)まで
21日(水) 新入生合宿ガイダンス(外国語学部)
→4月22日(木)まで
30日(木) 臨時休講
未定 春の留学フェア

5月

- 2日(日) 大学院通信教育課程開講式
20日(木) 健康診断(2・3年生)
→5月21日(金)まで
未定 人気雑誌リサイクル展

履修関係書類配布

401-404教室

- 3月30日(火) 07生 10:00～11:00
06生 13:00～14:00
3月31日(月) 05生以上
10:00～11:00

履修書類配布後に〔人数制限科目事前登録〕を501教室で行ってください。

スピーチコンテストを開催

昨年11月26日(水)午後1時30分から、英語と中国語のスピーチコンテストが11教室で開催されました。それぞれ英語、中国語担当の教員が審査を行い、次のみなさんが入賞し、表彰状と副賞の図書券が授与されました。

英語部門

最優秀賞	優秀賞	敢闘賞
河合芳希 英米語学科4年	山口里実 英米語学科3年	小島亜也子 経済学科3年
高津友美 英米語学科1年		

中国語部門

最優秀賞	優秀賞	敢闘賞
松本真奈美 中国語学科4年	酒井貴代 中国語学科4年	中村めぐみ 中国語学科1年
五藤真也 中国語学科2年	安藤莉紗 中国語学科1年	石田岳生 中国語学科1年
中井文子 中国語学科1年	山本一樹 中国語学科1年	

本学主催「会社説明会」を開催

2月10日(火)から27日(金)までの延べ13日間、本学主催会社説明会を「さかえサテライト」で実施いたしました。この説明会には、本学OBが在職する優良企業を中心として150社にお越しいただきました。就職活動が本格化してきた現3年生のうち381名が参加し、人事担当者の話を熱心に聞き入る姿が見られました。

参加企業への調査結果では、次年度の採用数増加予定企業が多数を占め、学生には朗報となっています。また、人事担当者から見た本学学生の感想は、「ややおとなしい」という声が聞かれました。期間中には、「女子学生マナー講座」と「自己PR相談コーナー」も設け、就職活動への意識向上に効果をあげました。

休学者・留年生の学費減免について

本学は休学者や留年生(1科目のみ未修得)の経済的負担を軽減し、学業の継続を支援するため、学費納付規程の改正を行いました。

なお、この制度は2004年4月から実施されます。

●休学者

休学を許可された学生
年間学費150,000円
(半期75,000円)

●留年生

卒業に必要な在学期間を満たしている留年生のうち、学期初めに卒業要件を「1科目」満たさない学生
その期の授業料の半額を免除

学費の年間一括納付について

教育ローン等のため、年間学費を一括で納付したいという要望が増えていることから学費の年間一括納付ができるようになりました。2004年度分より、春学期学費納付書とともに年間一括学費の納付書も送付いたします。



表紙写真／満開の桜並木（正門）

瀬戸キャンパス移転時に植樹された桜は40年たち、大木となり、毎年満開となって新入生を迎える。

学校法人 名古屋学院大学

発行日 ■ 2004年3月20日

編集 ■ 名古屋学院大学 広報委員会

発行者 ■ 名古屋学院大学 学長室広報課

愛知県瀬戸市上品野町1350 〒480-1298

TEL 0561-42-0317（広報課） ISSN 0915-8901

本学の情報はホームページでもご覧いただけます

<http://www.ngu.ac.jp/>

E-mail: upr@ngu.ac.jp